

インターバンクの声（2017年12月7日）

米税制改革の年内実現への期待が高まり、トランプ政権への評価にも変化が起こり
そんな兆しが出始めていたというのに、なぜこのタイミングで大統領がエルサレムをイ
スラエルの首都に認定しようとしたのか理解に苦しむ。この決断で中東情勢がより緊
迫化するの誰の目にも明らかなはずだ。昨日の東京市場の中盤からの円買い・ド
ル売りは、明らかに地政学的リスクの高まりを警戒したリスク回避によるもので、この
問題がなければ今ごろドル円は113円台、悪くても112円台後半付近で取引されて
いた気がする。ただ、海外市場でも何とか112円台を割らずにいるのは、米長期金
利の低下が限定的だったことや、ユーロやポンドの下落も極端ではなかったことで、
クロス円の下落による円買いに勢いがなかったためだ。米税制改革法案への期待
感も引き続きドル買い支援になっており、これ以上イスラエルの首都問題による影響
が拡大しないことがわかってくれば、あらためてドル買いに向かっても良いのかも知
れない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三
者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡
または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を
保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社お
よび本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘
を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。